

2023 年度私立大学図書館協会
第 2 回東地区部会役員会事務連絡会 議事要録

日 時 : 2023 年 8 月 23 日 (水) 10 時 00 分～11 時 00 分

方 法 : Web 会議 (帝京大学)

出席校 : 部会長校 帝京大学 (上岡、山下、川北、三谷、山内)
研究部担当理事校 専修大学 (飯泉、野村)
研修・会報担当理事校 国立音楽大学 (柄田、森岡)
理事校 立正大学 (島田)
地区ブロック選出理事校 北海学園大学 (河井)
監事校 成蹊大学 (細本、小野)
陪 席 : 会長校 明治学院大学 (鈴木、榎本)

※敬称略

配付資料 :

議事次第

資料 1 : 出席者名簿

資料 2 : 2023 年度 第 1 回東西合同役員会 東地区部会会務報告 (2023 年 4 月～7 月)

資料 3 : 2024 年度 東地区部会総会・館長会・研究講演会の開催について

資料 4-1 : 東地区部会オンデマンド研修受講状況 (地区ブロック別)

資料 4-2 : 東地区部会 2023 年度研修会受講状況 (地区ブロック別)

資料 5 : 「私立大学図書館協会東地区部会 役員校等選考に関する申し合わせ事項」(案)

資料 6 : 私立大学図書館協会組織図

資料 7 : 私立大学図書館協会東地区部会歴代役員校一覧

資料 8 : 私立大学図書館協会東地区部会研究部研修事業について

資料 9 : 研究部 Teams 利用ガイドライン_2023 年度版

議事に先立ち、部会長校帝京大学メディアライブラリーセンター副館長より挨拶があり、続いて出席者の確認が行われた。

議事進行は、部会長校帝京大学メディアライブラリーセンター副館長が担当した。

議 事 :

1. 第 1 回東西合同役員会での報告について

部会長校帝京大学より、東西合同役員会での報告者について以下のとおり提案があり、承認された。

部会関係 部会長校 (帝京大学) 山下 智美

研究部関係 研究部担当理事校 (専修大学) 飯泉 慎也

引き続き資料 2 に基づき、東地区部会会務報告 (2023 年 4 月～7 月) について、部会長校帝京大学より部会関係、研究部担当理事校専修大学より研究部関係の説明があった。

2. 2024 年度東地区部会総会・館長会・研究講演会の開催について

部会長校帝京大学および研究部担当理事校専修大学より、資料 3 に基づき、次年度も今年

度同様にオンラインによる形式および方法で開催を検討したい旨説明があり、了承された。加えて、西地区部会においても、組織・活動のスリム化に向け、オンラインによる実施の方向であることを確認したとの補足説明があった。

3. 東地区部会オンデマンド研修および研修会の地区ブロック別受講状況について

研究部担当理事校専修大学より、資料4に基づき報告があり、受講者は首都圏近郊からの参加が多いが、オンラインでの実施により北海道、東北ブロックからも参加があるとの補足説明があった。

4. その他

(1) 東地区部会 役員校等選考に関する申し合わせ事項（案）について

部会長校帝京大学より、資料5に基づき、今年度の東地区部会総会で承認された理事校担当名称の変更を反映させた案が示され、次回の東地区部会役員会で議事としたい旨説明があり、了承された。

(2) 私立大学図書館協会組織図について

部会長校帝京大学より、資料6に基づき、理事校担当名称の変更に伴い協会組織図の変更も必要となる旨説明があり、今後協議を進めることが確認された。変更に際しては、現状の組織図において、協会会則および東地区部会研究部細則で組織等名称に齟齬が見受けられる点、組織とイベントが混在して記載されている点などの意見交換がなされ、組織図の様式や記載する内容についても検討していく旨確認された。

(3) 私立大学図書館協会東地区部会歴代役員校一覧について

部会長校帝京大学より、資料7に基づき役員校の選定が進んでいない旨説明があり、今後の各担当校選考に関して、候補となりそうな大学があれば是非ご教示いただきたい旨依頼があった。

(4) 私立大学図書館協会東地区部会研究部研修事業について

研究部担当理事校専修大学より、資料8に基づき、研究部研修事業の今後の方針について報告があった。研修の受講料については加盟校への還元や参加の促進を目的とし、次年度から無料としたい旨説明があり、特に意見がでなかったため、そのように進めたいとの確認があった。

(5) 研究部 Teams 利用ガイドライン_2023 年度版について

研究部担当理事校専修大学より、資料9に基づき、今年度より研究部で契約し利用を開始している Microsoft Teams の利用ガイドラインについて報告があった。

(6) その他（懇談）

- ・監事校成蹊大学より、資料3に関連して、例年部会総会の同日に開催されていた第1回役員会事務連絡会について、2020年度以降は部会総会等の開催方法がオンライン形式に変更となっていることから中止としているが、今後は年間予定から外してもよいのではないかと意見があった。

- ・理事校立正大学より、コロナ禍以降、東地区部会の活動形態の見直しを行ってきたが、さらに担当校の負荷を減らしていくようなスリム化を目指し、新しい活動の形について検討していく必要があるのではないか、さらに研究会、研修等のオンライン化が進む中で、西地区部会とも協力し、協会全体での活動とするなども考えられるのではないかとの意見があった。
- ・部会長校帝京大学より、成蹊大学、立正大学からの意見を受け、これからの持続可能な活動を考え、新しい活動の形を改めて検討する時期にきており、今後も相談しながら進めていきたいとの話があり、意見があればお寄せいただきたい旨依頼があった。

以上